



12月になると、すっかり街はクリスマスに彩られていますね。キリスト教では、12月25日の約4週間前の日曜日からクリスマス・イブまでの時期をアドヴェントと言います。『アドヴェント』とは待降節とも言われ、イエス・キリストの誕生を待ち望み、準備する期間として過ごします。クリスマスを待ち望む楽しみのひとつ、「アドヴェントカレンダー」は12月1日から24日までカレンダーをめくっていきます。めぐみの森でも各クラス取り組み、小さいクラスでは毎年、“おほしがひかる”を歌いながら一人ひとり順番にシールを貼ります。何回か行くと、大人が歌を口ずさむだけでカレンダーを指差し、楽しみにしている様子が伝わってきます。幼児クラスでは、12月の毎週月曜日、クリスマスまでの期間アドヴェントクランツの4本のろうそくを1本ずつ増やしていきながらお話し会を行います。今年はどうなお話にしようか。子どもたちが実際に演じる役について詳しく伝えてみようか考え中です。子どもたちにとってクリスマスがサンタさんからプレゼントをもらえる日だけではなく、クリスマスの意味を理解し、楽しみに待ち望む期間として過ごすことができるようにしていきたいと思います。今年は、職員たちとも楽しめればと、事務室にもアドヴェントカレンダーを用意しました。子どもたちと同じように、自分の順番を楽しみにし、嬉しそうな顔をしてくれるのをひそかに期待しています。

幼児クラスでは、12/23(土)に行われるクリスマス会での聖誕劇に向けて準備が始まりまっています。今年も5歳児クラスでは、昨年のビデオを子どもたちとみることからスタートし、全員が揃い2回目のビデオを見ている様子を少しだけ見に行きました。ビデオを見ている時から、子どもたちは、歌やせりふを小さい声で口ずさみ、すっかり劇の中に入り込んでいます。ビデオが見終わったところで、それぞれがやりたい役を聞いていきます。「もうきまってる」と張り切っている子や、「んー」と考えた様子の子もいます。全員が第一希望を言った後で、誰も希望しなかった役や、希望の多い役がわかってきます。大人もその様子を伺いながら、「あの役もあるんだけどな。。」なんてまだ希望のない役を心配していると、Aさんから、「だれもいなくてしんばいだからガブリエルにしようかな。」と言っていました。子どもたちもどの役も必要で、誰も希望しない役があると困ることがわかっているようでした。希望の役をそれぞれ伝えた子どもたちは、自信に満ち溢れていたり、恥ずかしそうにしながらも真剣な顔が見られたり、今年のゆりぐみも聖誕劇を心待ちにしていたように感じ嬉しくなりました。第一希望では、マリア、はかせの希望が重なっていたため、全員が希望通りの役になれないこともあると思いますが、マリアがガブリエルから望まない妊娠を告げられながらも最後には、「かみさまありがとうございます。おことばとりになりますように。」と、自分に与えられた役割をしっかりと受けとり前に進んでいったように、子どもたち一人ひとりもそれぞれの与えられた役割を、胸を張って演じていくことができるように進めていきたいと思っています。



(記:園長 藤本)

今月のおすすめ 『クリスマスマーケット』



めぐみの森でも“4年振り”と、行事をコロナウィルス前に戻しつつありますが、世の中もイベント等、人が集まることが解禁され、クリスマスマーケットも盛んになってきました。興味なさそうと思われてそうですが、実は昨年も六本木ヒルズで行われていたクリスマスマーケットに出掛けました。今年も、六本木で行われる『クリスマスマーケット』、神宮外苑前で行われる『東京クリスマスマーケット』、横浜赤レンガ倉庫で行われる『クリスマスマーケット』、どこかには行きたいなと考えているこの頃です。

ご家族で良かったら出掛けてみてください！！

